

令和2年度 第1回高岡の森弘前藩歴史館協議会 会議録（要旨）

日時 令和2年12月15日（火） 午後1時30分開始 午後3時30分終了
場所 高岡の森弘前藩歴史館 映像・講話室
出席者 瀧本 壽史 委員長（議長） 小山 伸吉 委員
葛西 修造 委員 鎌田 龍 委員
工藤 利彦 委員 小嶋 義憲 委員（6名）
欠席者 島内 智秋 副委員長
事務局 館長 成田正彦 館長補佐 石岡博之 主幹兼運営係長兼学芸員 鶴巻秀樹
主事兼学芸員 澁谷悠子（4名）

次 第

- 1 委嘱状交付
- 2 教育長挨拶
- 3 職員紹介
- 4 組織会
- 5 第1回協議会会議

案 件

- (1) 令和元年度事業報告について
 - (2) 令和2年度事業計画経過報告について
 - (3) 令和3年度事業計画について
-

1 委嘱状交付

吉田健教育長から、小山伸吉委員、葛西修造委員、鎌田龍委員、工藤利彦委員、小嶋義憲委員、瀧本壽史委員に対し、委嘱状を交付。

2 教育長挨拶

3 職員紹介

4 組織会

委員の互選により、委員長は瀧本壽史委員、副委員長は島内智秋委員に決定。

5 第1回協議会会議

事務局

ただいまより、令和2年度第1回高岡の森弘前藩歴史館協議会を開催いたします。高岡の森弘前藩歴史館管理運営規則第3条第2項の規定により、委員長が会議の議長となるとされておりますので、ここからの進行は瀧本委員

長をお願いいたします。

議長
(委員長) それでは、会議を進めてまいります。
本日は島内副委員長が欠席であります、出席委員は6名で、過半数ですので、会議は成立いたします。
直ちに案件の審議に入りますので、議事の進行についてご協力をよろしく申し上げます。
それでは、次第に従いまして、まず、案件の(1)令和元年度事業報告について、事務局から説明をお願いします。

事務局 **【資料に基づき事務局より説明】**

議長 ご質問、ご意見併せてご発言いただければと思います。
私からひとつ質問です。寄贈資料の中にある碇ヶ関関所絵図は、現在、道の駅いかりがせき関所資料館で展示しているものと同じもののでしょうか、または違うものですか。

事務局 資料館で展示しているものは写真・ジオラマで、当館にあるものが実物です。昨年寄贈いただいたもので、開催中の企画展「災害を読み解く」で展示しております。

小嶋委員 刀剣の砥ぎは、予算の関係でできないのですか。

事務局 砥ぐ必要のある刀剣で展示する予定があれば、予算を確保して行います。

議長 数多く収蔵する刀剣の維持の一環として計画的に行ってほしいと思います。
それでは、次に、案件(2)令和2年度事業経過報告について、事務局から説明をお願いします。

事務局 **【資料に基づき事務局より説明】**

議長 事務局の説明に対して、ご質問、ご意見等ございますか。

小嶋委員 イベント開催の告知は広報ひろさきに掲載されますか。

事務局 広報ひろさきに掲載した上で、ホームページ、アップルウェブ、報道機関への情報提供、SNS等でも周知しております。

議長 今年のロビーコンサートでユーチューブでの配信を一部実施したそうですが、ライブ配信を行うにあたって弊害はありましたか。

事務局 設備やセキュリティ等、問題があります。団体側でライブ配信をした津軽カタリストは、必要な機材をお持ちのためお願いしました。遠方の方には良いサービスと思いますが、当館配信で行うとなると、機材も高く予算の関係もありますので難しいです。

議長 他施設では企画展の Zoom 配信等を盛んになさっているようです。入館料収入にはならないでしょうが利用者数には入ってくるかと思います。セキュリティ等の点で難しいですか。

事務局 ライブ配信ではなく、録画したものを後で流すのは可能だと思います。現時点では動画配信は広聴広報課を通じてしかできないので、協議していきたいと思います。

議長 今年も資料の寄贈・寄託があったようですが、これは市立博物館と歴史館とで住み分けはしていますか。

事務局 刀剣類や、江戸時代以前の物は歴史館という住み分けがあるのですが、実際のところは寄贈者の意向によります。ただ市立博物館の方が収蔵スペースが狭くなってきていて、歴史館はまだ空きがあることもあって、こちらに収蔵活用できる物があれば、市立博物館から連絡をいただいて、寄贈者が承諾すれば歴史館で受ける場合もあると思います。

議長 市立博物館と歴史館の両方の収蔵スペースを考えて対応していかなければならないと思います。

次に、案件（3）令和3年度事業計画について、事務局から説明をお願いします。

事務局 **【資料に基づき事務局より説明】**

議長 事務局の説明に対して、ご質問、ご意見等ございますか。

葛西委員 町会の役員会で、館長が町会の総会の時に顔を出したいという申し出を話したところ、いいのではないかとのことでした。町会の方で現在、除雪と馬場跡の草刈りは主体的にやっています。町会の感覚としては、参拝者は増えていて、コロナでいろいろありますけれど、前よりは人の往来が増えてきていると思います。

事務局 協議会から意見をいただき、今年は高岡集落ができて300年ということで、町会の皆さんが300年を振り返る機会を作れないかなということを考えています。

小嶋委員 以前、この集落の成り立ちについて話す機会をいただいたことがあります。高岡という地名は元々弘前城下を指すもので、その積み重ねが現在に至っています。集落の皆さんには、もっと誇りを持ってもらえるといいと思います。

小山委員 展示会のことなんですが、一番会期の長い津軽と蝦夷地展はどんな内容ですか。

事務局 具体的には歴史館所蔵の貴田稲城の絵図や、市立図書館所蔵の古文書、蝦夷錦などの展示を検討しています。津軽の人も蝦夷地（北海道）に行き来していたことが分かる展示にしたいと思っています。

- 小山委員** 岩木山観光協会で行っているお山参詣に用いる御幣がありますが、実は、その御幣の元というのを調べたら蝦夷地のアイヌと関わりがあるらしいことが分かりました。
- 小嶋委員** 行き来があったという意味ですか。
- 議長** 深浦の円覚寺にアイヌの人たちが奉納した御幣があり、祭りの時に焼いたりするので残らないが、円覚寺には30～40本残っています。同じようなものが日本海側の神社で額に入れて奉納されていて、それはアイヌの人たちが使っていたものを持ってきたのではないかという話があります。日本に御幣がないはずがないわけで、お互いに行き来していて、記録としても江戸時代の18世紀の記録にも残っています。御幣を投げれば海が鎮まるとか、そんな記録が残っています。
- 事務局** 歴史館の情報を岩木山観光協会のホームページのブログに載せる等はできますか。
- 小山委員** リンクでも可能です。岩木山観光協会は他のイベント情報も掲載しています。
- 議長** ぜひバナーを作ってやっていただければいいじゃないですか。
- 小山委員** 動画の方がいいですね。動画があれば次はユーチューブですよ。コマーシャルにもなるし、拡散出来ます。
- 小嶋委員** そうであれば古武道のイベントなどもいいですね。
- 議長** 記録として残すものも含めて撮影し、積み重ねていく必要があります。
- 事務局** 動画は記録用のほか、スマートフォンでの録画などいろいろ撮っています。まずは市のホームページに載せていければと思っています。
- 鎌田委員** 例えば高岡の森弘前藩歴史館チャンネルとかを作って発信することはできないですか。
- 事務局** 歴史館ではできません。広聴広報課を通じて公式なルートを使うしかありません。
- 鎌田委員** 例えば刀剣保護プロジェクトなどの動画を発信すれば、興味のある人が集まってくるのかなと思いました。先ほど話にあった、収蔵品の修繕や砥ぎの動画は残してあるのですか。
- 事務局** 今のところ歴史館では修繕や研磨は事業として行っていないので、記録は残していません。
- 鎌田委員** なかなか難しいことではあると思うのですが、そういう作業過程が観られたら、お客様が展示をリアルなものとして捉えられて、ここへ来たいと思

うのではないかと考えます。

事務局 物だけでなく映像とセットになった方がお客様が理解しやすいと思います。ただし、記録映像や、展示して見せる設備がありません。他館の例を参考にしながら、映像の収集や設備について検討が必要と考えています。

鎌田委員 歴史館には、すごく面白い展示がたくさんあります。例えば、動画や音楽で美術品ひとつひとつにまつわる物語などが流れたりしていると、来た人がもっとリアルな体験として感じるのではないかと思います。今コロナ禍で、よそから弘前に来ようという気持ちに踏ん切りがつかないところがあり、そこをクリアさせるための仕組み作りも、これからの時代必要かと思っています。

議長 展示品にまつわる物語という話が出ましたけど、展示品の見方について深めていく必要があるかなというお話でした。

小嶋委員 以前刀匠より刀剣手入れのノウハウを聞きました。打ち粉で古い油を拭い去る時には、古い布を何度も使うのではなく、都度ティッシュを使い捨てると聞いています。

事務局 刀剣の手入れの仕方は、どのような方法が良いか試行しているところです。委員がおっしゃるように、使い古しの物を何回も使うことはせず、ティッシュなどを使い捨てるようにしています。

議長 修繕の技術も随分発展してきました。そういう技術を伝えていくのも博物館の役割という部分もありますが、なかなか難しいところもあります。

議長 ところで工藤委員は、学校関係の立場から何かご発言はありますか。

工藤委員 館長さんが4月の校長会議で、啓発に努められているところを何回も見せていただきました。ですが、校長先生個人の興味関心に左右される部分が多いので、小学校の社会科の先生方が研修で集まる機会に啓発等を行ったほうが良いと思います。その集まりも今年はできなかったもので、せめて私の役割で、歴史館の活用方法を先生方へ伝えるべきかなと考えてきました。今までの修学旅行や体験旅行がやれなくなると企画が旅行会社任せになってしまう。そういう時に、学校側が分かっていたら歴史館に行こうということもできたと思います。学校側で来年度の活動の日程を組む中で、今から春までが周知の時期かと会議の中で思いました。市内だけでなく中南管内の学校にも手を広げてみてはどうでしょうか。実際遠方への修学旅行ができなくなり、岩木山神社でお参りして、鱒ヶ沢で一泊という旅行をした学校もあるので、その時に歴史館に寄ってもらう提案ができるわけです。先日の校長会でも、東京への修学旅行を計画しつつ、行けなかった時のために何段構えかの計画を立てなければならないという話になっていました。その計画の中に歴史館が含まれるように私の方でも機会を捉えて話をしていきたいと思っています。

事務局

当初、校長会で歴史館や博物館をPRした際、校長先生から、担任の先生に伝えてもらえればと考えました。ですがなかなか伝わっていないことが分かり、文書を出すようにもしましたが、先生方は皆さん忙しく、あまり周知されていない状況です。どうすれば先生に周知できるのか。それが今の課題です。今、工藤委員がおっしゃいましたが、社会科の先生の集まりなどでPRできればと思っています。歴史館の展示に加え、絵馬づくり体験等を通して、歴史や文化に触れて、子供たちの理解につなげていければと思います。小中学生に博物館をどう活用してもらおうのか、そこが課題です。

小嶋委員

八戸の小学生が修学旅行で弘前に来たと聞きますが、南部の方に対して歴史館の内容とか、市立博物館の内容とか、りんご公園とか、そういうものをまとめて、情報提供いただければ、修学旅行で来てもらえる可能性があるのではないのでしょうか。そういう機会をどう捉えていくか、どうPRするかというのが必要だと思います。

議長

委員の方でもう少し話をしたいとかありますでしょうか。無いようですね。予算獲得など大変な面もあるでしょうが、質の問題もありますので、今年やったことをずっと継続していけるように進めていただければ大変ありがたいと思います。それでは事務局にお返しします。

事務局

瀧本委員長、大変ありがとうございました。それではこれで令和2年度第1回高岡の森弘前藩歴史館協議会を終了いたします。本日は本当にありがとうございました。